

第3学年国語科学習指導案

日 時 平成20年10月17日（金）授業 I

児 童 男子24名 女子11名 計35名

授業者 多田 健一

1 単元名 大事なことをたしかめよう

教材名 「すがたをかえる大豆」

2 単元について

(1) 児童の実態

児童はこれまで、2年上「たんぼぼのちえ」で、時間の順序による説明の仕方を学習した。同じく2年上の「サンゴの海の生きものたち」では、二つの事例についての説明の仕方を学習した。また、3年上の「ありの行列」では、仮説—検証型の文章を学習してきている。段落ごとにどんなことが書いてあるか読み取るとともに、表現の細かいところに注意して読んだり、全体の構成を考えながら読んだりしてきた。

これまでの学習を通して、具体的な時間の流れを表す言葉から、文章の順序を把握することができるようになってきている。しかし、場面の情景を叙述に即して想像したり、登場人物の心情を読み取ったりするところが十分に定着していない児童もいる。

語彙力に関しては個人差が大きい。語彙力がある児童は、言葉から自分の考えを自由な発想で発表したり、文章で書いたりできるが、そうでない児童については、まわりとの学び合いの中でもなかなか深まらない様子が見られる。

書くことについては、経験したことを意欲的に表そうとする児童が多いが、順序よく表現したり、語や文の続き方に気を付けて書いたりすることは、まだ不十分である。

音読についても個人差が見られる。初見の文章でもすらすらと読むことができる児童がいる一方で、繰り返し練習をしなければならない児童もいる。授業の中で音読の練習を保障することに加え、毎日の家庭学習でも取り組んでいる。

読書については、比較的意欲的に読む児童が多い。食物に関する本を学級文庫に用意し、本単元につなげていきたい。

(2) 教材について

本教材は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれたもので、内容的には児童にも身近なものである。ただ、大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできているとは思われないものも多く、児童に意外性をもって知ることの喜びを与える内容ともいえる。

いっぽう、説明文教材として見た場合、「はじめ・中・終わり」という文章構成になっており、段落構成やキーワード等も明確で要約などの学習にも適している。また、教材文の内容を参考に、自分で調べたいものを選んで、それに関する情報を集めて文章にまとめる学習、「食べ物のかせになろう」から構成されているものである。

(3) 指導にあたって

つかむ段階では、大豆を使った食品について知っていることを出し合ったり、食品の写真や挿絵、実物などを提示したりし、「すがたをかえる大豆」という題名と関連させて、読み進める意欲を高めていきたい。

ふかめる段階では、サイドラインを引いたり、書き込みをしたりしながら、叙述に即しながら

ら大豆をおいしく食べるくふうの方法を読み取っていく。その際、「おいしく食べるくふう」「どのようにすがたを変えるのか」「手の加え方」を讀みの視点として、中心となる語や文をとらえさせていく。そして、段落の要点を抜き出したり、意味のまとめりごとに小見出しをつけたりし、内容を整理させていきたい。ただし、内容や意味だけを追うのではなく、接続語や指示語、繰り返し出てくる語句などの表現の工夫を押さえ、後半の「書く」ことの指導に生かしていきたい。

授業のはじめには、段落のつながりを意識させるために、本時学習する段落だけでなく、前時に学習した段落を含めて音読するようにする。終わりでは、「ふり返りカード」を使って、自分のがんばりや感想を残し、次時への意欲づけを図りたい。

後半の「食べ物はかせになろう」では、これまでの学習で読み取ったことをふり返りながら書く活動につなげていきたい。本での調べ方を知り、調べたい食べ物について情報を収集・整理し、文章にまとめていく。

3 指導目標

【関心・意欲・態度】

- ◎ 食べ物について書かれた読み物や図鑑などを興味をもって読もうとしている。

【書くこと】

- ◎ 調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりすることができる。(書くこと イ)
- ◎ 書こうとすることの中心を明確にしなが、段落と段落の続き方に注意して書くことができる。(書くこと エ)

【読むこと】

- ◎ 中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。(読むこと イ)
- ◎ 内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。(読むこと オ)

【言語事項】

- ◎ 文章全体における、段落の役割を理解することができる。(言語 オ(イ))

4 単元指導計画 「すがたをかえる大豆」「食べ物はかせになろう」(全17時間)

段階	時数	学習活動	指導上の留意点	評価規準
つかむ 2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・題名を読み、大豆を使った食品について知っていることを発表し合う。 ・新出漢字や、語句の意味、どんな食品が出てきたかを確認する。 ・初発の感想をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題名とリード文を読んで、どんなことが書いてあるか話し合わせる。 ・感想を出し合うことで、意欲づけにつなげ、見方や考え方の幅を広げさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてをつかみ、進んで読もうとしている。 ・初めて知ったこと、疑問に思ったことを書いている。

ふかめる	1	<ul style="list-style-type: none"> ・話題提示部分を読み取る。(①②段落) 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し出てくる言葉に着目させ、話題を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が話題にしていることについて読み取っている。
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・いる、煮る、ひいて食べる工夫について読み取る。(③④段落) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手を加えるときの言葉(いる、煮る、ひく)に着目させて読み取らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いる、煮る、ひいて食べる工夫について読み取っている。
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養を取りだしてちがう食品にする工夫について読み取る。(⑤段落) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手を加えるときの言葉(取り出す、すりつぶす、熱する、しぼり出すなど)に着目させて読み取らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養を取りだしてちがう食品にする工夫について読み取っている。
	1 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな生物の力をかりてちがう食品にする工夫について読み取る。(⑥段落) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手を加えるときの言葉(かりる、むす、くわえる、おく、まぜ合わせるなど)に着目させて読み取らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな生物の力をかりて、ちがう食品にする工夫について読み取っている。
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・取り入れる時期や育て方を変えて食べる工夫について読み取る。(⑦段落) ・段落相互のつながりについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手を加えるときの言葉(ゆでる)や、取り入れる・育て方などの言葉に着目させて読み取らせる。 ・接続語に着目させ、段落相互の関係を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り入れる時期や育て方を変えて食べる工夫を読み取ることができる。
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの食べ方が考えられてきたわけを読み取る。(⑧⑨段落) 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで読み取ってきたおいしく食べるための工夫をふり返り、多くの食べ方が考えられてきたわけを読み取らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの食べ方が考えられてきたわけや筆者の考えを読み取っている。
まとめる	1	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとの小見出しを考え、文章の構成を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成をとらえさせ、文章を書く際に生かすようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとの小見出しを考え、文章全体をふり返り、段落ごとのつながりを考えながら「初め・中・終わり」の文章構成を理解している。
	1 9	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物がかせになろうを読み、学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食べ物の中から、調べたい食べ物や調べる事柄を選び、学習の見通しをもたせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたいことを決め、学習計画を立てることができる。

2	<ul style="list-style-type: none"> 調べる食べ物についての情報を、図書室の本で調べ、カードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報をカードに記入し、整理しながら進めさせる。 カードには必要なことだけにしぼって書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べる食べ物についての情報を本等で収集し、カードに書いている。
3	<ul style="list-style-type: none"> 情報カードをもとに、調べたことを整理して、文章にまとめる 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の例を参考にし、段落相互の関係を意識しながら文章を書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報カードをもとに情報を整理し、段落構成を考えて文章を書いている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読み合い、感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落や説明の仕方に着目しながら感想を述べたり、書かせたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落や説明の仕方に着目し、感想をもつことができる。

5 本時の目標

(1) 目標

大豆をおいしく食べるために、目に見えない小さな生物の力をかりてちがう食品にする工夫とできる食品について、叙述に即して正しく読み取ることができる。

(2) 授業の視点

- 大豆をおいしく食べる工夫や、手の加え方やすがたの変わり方について中心となる語や文をとらえて、叙述に即して正確に読み取らせるようにする。
- 視写文を掲示し、サイドラインや書き込みなどから語と語や文と文のつながりを視覚的にとらえやすくする。

(3) 展開

段階	学 習 活 動	教師の働きかけ (・) 児童の反応 (→)	指導上の留意点
つかむ 5分	1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 大豆をおいしく食べるためにどんな工夫をしていましたか。 →大豆にふくまれる大切な栄養を取りだして、ちがう食品にする工夫。 どんな食品にすがたをかえていましたか。 →とうふ 	<ul style="list-style-type: none"> 前時で学習した「工夫」と「食品」についてふり返り、確認させる。
	2 学習課題を把握する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">大豆をおいしく食べる4つ目の工夫を読み取ろう。</div>	

<p>ふかめる</p> <p>30分</p>	<p>3 学習場面を音読する。</p> <p>4 ⑥段落について読み取る。</p> <p>(1) おいしく食べる工夫と食品について。</p> <p>(2) どのように手を加えられ、すがたをかえていくのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしく食べるための工夫やどのような食品にかわるか、手を加えるときの言葉等に気を付けながら読みましょう。 ・おいしく食べるための工夫が分かるところにサイドラインを引きましょう。 →目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にする工夫。 ・どんな食品になるのか、わかるところを囲みましょう。 →なっとう →みそしょうゆ ・なっとうになるために必要な目に見えない生物とは何ですか。 →ナットウキン ・なっとうはどのように手を加えられて、すがたをかえていきますか。 →ナットウキンの力をかりる。 →むした大豆にナットウキンを加え、あたたかい場所に一日おく。 ・「むす」とは、どういうことですか。 →湯気でものを熱すること。 →ふかす ・みそになるために必要な目に見えない生物とは何ですか。 →コウジカビ ・みそはどのように手を加えられて、すがたをかえていきますか。 →コウジカビの力をかりる。 →まず、むした米か麦にコウジカビをまぜる。それと、しお 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落のつながりを意識させるため、前時の段落を含めて読ませる。 ・読みの視点を意識した音読をさせる。 ・「くふう」という言葉に着目してサイドラインを引かせ、段落の中心文を意識させる。 ・手を加えるときの言葉を手がかりに、なっとうができる過程を順序よくとらえさせる。 ・すがたをかえる工夫である、「目に見えない小さな生物」「ちがう食品」とは何かを確認しながら読み進める。 ・前時の⑤段落や、なっとうで読み取ったことを元にして、自力で読み取らせたい。
------------------------	--	---	--

ま と め る 1 0 分	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>6 まとめの音読。</p> <p>7 次時の予告をする。</p>	<p>をにてつぶした大豆に加えてまぜ合わせる。ふたをして、風通しのよい暗い所に半年から一年おく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「それ」の指しているものは何ですか。 →むした米か麦にコウジカビをまぜたもの。 ・まぜ合わせるは、何と何の言葉が合わさっていますか。 →「まぜる」と「合わせる」 ・しょうゆの作り方はどうですか。 →みその作り方によくしている。 <p>・4つ目の工夫と食品について、まとめてみましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>4つ目の工夫は、目に見えない小さな生物の力をかりてちがう食品にすること。なっとうやみそ、しょうゆになる。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・指示語、複合語なども取り上げ、読みを深めるための手立てとする。 <p>・学習した内容が、中心文に表れていることを確かめ、まとめさせる。</p> <p>・今日の学習についての振り返りをする。 (カード)</p>
-------------------------------------	---	---	---

具体の評価規準

A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する子への支援
<p>小さな生物の力をかりて、ちがう食品にする工夫を正しく理解し、適切に要点をまとめている。</p>	<p>小さな生物の力をかりて、ちがう食品にする工夫を正しく探し、サイドラインを引いている。</p>	<p>くふうという言葉や手を加えるときの言葉に着目させて、サイドライン引くように支援する。</p>

(4) 板書計画

すがたをかえる大豆

国分 牧衛

かだい

大豆をおいしく食べる四つ目の工夫を読み取ろう。

おいしく食べる工夫

どのような食品にかわるのか
手を加えるときの言葉

工夫

目に見えない小さな生物の力をかりてちがう
食品にする

ナットウキン

- ①大豆をむす。
- ②ナットウキンをくわえる。
- ③あたたかい場所に一日おく。

コウジカビ

- ①米や麦をむす。
- ②コウジカビをまぜる。
- ③しおを、にてつぶした大豆にくわえまぜ合わせる。
- ④風通しのよい暗いところに半年から一年おく。

まとめ 四つ目の工夫は、目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にすること。なつとうやみそ、しょうゆになる。